

2021年 4月 5日発行 第186号

*N.P.O.*

*Global SOROBAN Institute*

*Seminar Report*

通称:N.P.O.法人 I.M. そろばんセミナーレポート

*Think with SOROBAN*



発行 N.P.O.法人 I.M.そろばん

～ も く じ ～

巻 頭 言 . . . . .	1
検 定 試 験 に つ い て . . . . .	4
サイコウのまなび . . . . .	5
投 稿 . . . . .	6
ハワイからの便り . . . . .	7
事務局だより . . . . .	8

# 巻頭言

## 風化させてはならない

2021. 3. 11. で、東日本大震災発生より 10 年が経ちました。節目でもあります。改めて犠牲になられた 2 万 5 千余人の方々のご冥福をお祈り申し上げます。阪神淡路大震災よりは 26 年が経っております。阪神淡路大震災での犠牲者の数は 6 千 5 百人ほどでした。今から百年ほど前に発生した関東大震災時の犠牲者の数は 10 万 5 千人強でした。いずれも驚くべき数であったといえます。コロナ禍の最中でも、改めて防災の大切さが叫ばれているのは、もっともなことです。

人の命ほど大切なものはありません。しっかりと、可能な限りの防災を考えておかななくてはなりません。そのための行政の施策が大いに期待されます。あらゆる施策に優先して人の命を守るためのものが実施されることが、当然の世の中になって欲しいです。

経済優先のため、科学を信じるなど公言していた大統領がおりました。こんな馬鹿げたことはないと思われまます。しかし日本でも同じようなことが良くあります。今から 20 年以上前に、三陸沖で大きな地震が近く起こるといっていた地震科学者が幾人かおりました。もちろん、そうではないという地震科学者もおりました。企業はどちらの考えが妥当かを十分に検討しなかったようです。企業経営にとって都合の良い方を採用したのです。

企業にとって都合の良い方の説に従うと、設備投資が安価にできたのです。その結果、あの大地震に遭ってしまったのです。東日本大震災は避けることのできなかつた自然災害でしたが、それに伴って起こった原発事故は、科学を信じておれば、避けることが可能であった人為災害であったのです。

自然というものは、ニュートンもいっていますが、まだまだ解明できていない部分が圧倒的に多いのです。何が起こるか分からないのです。ですから、自然と対峙して何かをするときは、人間にとって最悪の事態の想定を十分に考慮しておくべきなのです。自分にとって都合の良いように考えて行動することは、非常に危険なのです。

電気は送電するとロスが多く発生します。ですから、電力を多く消費する地域の近くに発電施設を建設するのが経済的なのです。火力発電所は海岸に沿ったところに建設されることが多いです。これは、燃料の搬入に便利だからです。しかし、発電時に CO<sub>2</sub> を多く含んだ煙を大量に排出するので、海岸近くであっても人口密集地域には建設されることはありません。

原子力発電所からは、発電時に CO<sub>2</sub>などを排出することはありません。電力会社も国も、対策をしっかりと採っておれば、原発は絶対に安全であるといっています。そうであるなら、原子力発電所を、電力消費量の多い人口密集地帯に建設すれば、送電ロスが少なく経済的です。

その意味で、最適な立地は東京湾沿岸ということになります。何年前から、いろいろな巨大施設を作ったり、交通手段も充実させたりしているのですから、原発建設のための土地が無かったということではないはずです。地盤が軟弱なのかもしれません。しかし、巨大施設は作っているのです。今日の技術でもってすれば、安定した岩盤まで掘り進めて基礎をつくることは不可能ではないです。しかし、原発を建設するという事は、なかったです。建設計画さえ聞いたことはありません。

絶対に安全であると豪語していても、万一、事故が起これば、人口密集地帯ですからとんでもないことが起こると考えているのではないかと、穿った見方かもしれませんが、思いたくありません。自分たちはそういう目に絶対にあいたくないと、首都圏の住民は考えているのでしょう。原発によってもたらされる生活の快適さは享受するくせに、事故のリスクは負いたくないのです。その証左に、いまだに解決される見込みのない東日本大震災による原発事故の後始末を、首都圏が肩代わりすべきであると考えている首都圏在住者は、あまりいないです。地元ですべて覆い被せています。他人事のように思っています。

原発事故は、火力発電所が爆発などの事故を起こすときの被害と訳が違います。火力発電所などが爆発事故を起こしても、被害発生のほとんどは、爆発時です。しかし、原発事故が起きて放射能が漏れると、大変です。事故発生時だけで問題は終わらないのです。人類をはじめとする、すべての生物に害を及ぼす放射能がなかなか無くならないからです。放射能にもいろいろ種類がありますが、半分になるのに早くても15時間かかりますが、長いもので、ウラン235になりますと、半分になるのに7億年かかります。

なかなか有害性が無くならないから、地中深く安定・安全なところへ埋めてしまうという案があります。地球の歴史からするとほんの一瞬ともいえる期間で、大きな地殻変動は起こっています。それに耐えられるところに埋めることが可能なのでしょうか。

地球のことは、まだまだ解明されていないことが多いです。ですから、同じ分野でも、いろいろな学説があり得ます。一つを鵜呑みにするのではなく、どれが良いかを自分の力でしっかりと考えるべきです。自分にとって都合の良い学説を採用するのではなく、予想される結果の内、最悪の場合も、必ず想定しておくべきです。

車を運転する時、事故を起こすとは思っていません。しかし、万一を考えて保険に入ります。ですから、何か事起こすときは、万一を考えて保険に入っておくべきです。どの保険会社も保険を引き受けてくれないような事業であるなら、それは絶対にやるべきではないです。

原発は発電時にCO<sub>2</sub>を発生させないから、地球環境に理想的なものであるとあって、原発を推進しています。科学的根拠であるというのです。発電時にCO<sub>2</sub>を発生させないとしても、施設建設時には大量のCO<sub>2</sub>を発生させていますし、発電時に必要な濃縮ウランを手に入れる過程でもCO<sub>2</sub>は発生します。また、発電後の廃棄物質の処理もなかなかできないのです。

安全とっていながら東京湾沿岸には建設できなく、保険会社も保険を引き受けてくれないような原発建設を、何故やるのですか。色々と崇高な目的をいわれていますが、結局は営利目的で作った組織を維持するためであるといわざるを得ないです。そして自分たちに都合の良いような科学情報だけを採用して、もっともらしい顔をして事業を展開しているのです。

東日本大震災で亡くなったり行方不明になったりした方々は、関連死の方を含めると 2 万人を超えます。今後このような犠牲者を出さないために、様々な取り組みがなされています。すべての社会資本を完全に元に戻し、より充実したものにすることはもちろん、震災の記憶を風化させないといったものも必要です。常に、事前に十分に備えておく必要があるのです。自然災害が発生するのは人間の手で防げなくても、被害を最小限に抑えることをしておくべきです。色々な策を講じておかななくてはならないですし、その第一歩はその自然災害を風化させないことです。

コロナ禍が日常になっている昨今でも、より効率良い、より快適な生活が追い求められています。それでも命を守るための活動として、東日本大震災の記憶を風化させないためのものが地道に続けられています。現在もいろいろな活動が続けられています。その様子は毎年 3 月 11 日の頃に、新聞やテレビなどでも良く取り上げられていますが、その時期だけでなく、ずっと日々続けられていることが非常に多いです。今後も命を守り続けるには、本当に大切なことです。活動を続けておられる方々に頭が下がります。

人の命は無条件に尊いものです。亡くなられた方の数の多少が、尊さの多少になることは無いです。第二次世界大戦時に亡くなられた日本人の数は、300 万人近くであったということです。それぞれの尊い命には、それぞれの大切な思いがあったはずですが、改めて戦争の怖さを思わずにはいられないです。東日本大震災の災害の大元は、自然災害です。しかし、戦争は、100% 人災です。人災ですから、人間の心がけで防げたはずですが、それでも 300 万人の方々が亡くなられたのです。

戦争をもう二度と起こさないために、戦争から得たもろもろの教訓を常に肝に銘じておくべきです。戦争という人災を絶対に風化させてはならないです。戦争に繋がる芽は必ずすべて速やかに摘み取っておかなくてははいけません。戦争に繋がる可能性のある道の選択は、どんな言い訳を使っても、絶対に採ってはならないです。国家というものは、人々の平穏な生活と命を守るためにあるのですから、国家のために人々の命を捧げよというのは、絶対にあってはならないです。

尊い命を守るために、戦争の記憶を風化させない取り組みが必要ですが、何故か取り組み方が弱い気がするの、私だけなのでしょうか。

理事長 荒木 光 (京都教育大学名誉教授)

<http://plaza.rakuten.co.jp/honkideeco>

(2021. 4.)

# Think with SOROBAN

第68回考えるそろばん検定試験施行日は4月25日（日）です。

試験日 令和3年4月25日（日）全国 一斉  
試験会場 IM会員教場・公共施設  
申込期間 令和3年4月5日（月）～4月12日（月）  
申込方法 所定の申込み集計表に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにてお申込みください。

I.M.そろばん検定部 FAX：0297-86-6033

Eメールアドレス：im-kentei@imsoroban.com

受験料 4月13日（火）までに下記口座にお振込みください。

NPO法人 I.M.そろばん検定部

ゆうちょ銀行 10300-49758291

◆申込集計表等一式を配布いたします。検定の日程を確認の上、お申し込みください。

## 次の考えるそろばん検定試験日程

第69回	2021年 6月27日（日）
第70回	2021年 8月15日（日）
第71回	2021年10月24日（日）
第72回	2021年12月19日（日）
第73回	2022年 2月27日（日）
第74回	2022年 4月24日（日）

※検定試験の前には模擬問題練習が有効的です。

※検定試験問題見本のページは一通りご紹介させて頂きました。これからは是非模擬問題をお試し下さい。模擬問題はI.M.そろばん検定部、又は事務局へ電話・メールにてご用命下さい。

# サイコウのまなび

## DXの一步目は？

### 【難しいイメージに付け込めば…】

「個人の学習塾や習い事の教室を狙って個人情報が抜き取られる事件が頻発しています。そこで、遠隔での抜き取りはもちろん、コンピュータウイルスもブロックできるセキュリティソフトを税込月額500円でご提供しています。必要な設定はこちらでやるので、特に手間をかけずに個人情報の保護を行うことができますよ。保護を徹底していることをチラシに書けばアピールにもなると思いますよ！」

いかがでしょうか？必要性は感じていただけましたか？

LINEのデータが海外で閲覧できていた、フェイスブックから5億人分の個人情報が流出した件などが連続して発生しました。世の中がIT技術により便利になり、個人情報の流出の危険性が少なくなる一方で、信頼しきることはまだまだできないようです。

少し前から、DX（デジタルトランスフォーメーション）の話をしてきました。前回のシンギュラリティのテーマと関連して、どのようなことから手を付けなければいいかを考えてみました。今回のテーマは「セキュリティ」です。難しそうですか？難しそうですよね。そういうところに付け込まれます。

皆様も生徒情報などの個人情報の管理をされていると思います。手書きの帳面にまとめる方法があれば、エクセルなどで管理する方法もありますよね。手書きの帳面は物理的に盗まれない限り流出することはありませんが、エクセルなどで管理する場合には、外部からの侵入により入手することができてしまいます。

最強のセキュリティ方法は物理的な盗難防止措置を施したスタンドアローン（インターネットなどを接続せずに、コンピュータ単体で使用する状態）と言われていますが、個人情報管理専用のコンピュータを一台用意するのは中々できることではありません。

スタンドアローンにしなければ個人情報を守れないのか、というところというわけではありません。もちろん適切に管理すれば十分に保護することは可能です。

先に進む前にまず「もし、自分が個人情報を抜き取る側の人間だったら」という視点で、考えてみてください。

- ・どんな人だったら、抜き取りやすいか
- ・どんな状況だったら、抜き取りやすいか
- ・どんな方法を使ったら、抜き取れるか

なお、私の視点ならおそらく皆様のパソコンから個人情報を抜き出すのは造作もありません。しませんけど。犯罪なのでダメ、絶対。

もし、冒頭の文を読んで、必要かもしれない。と思った方、危ないです。冒頭の文は作り話ですが、私ならセキュリティの難しそうなイメージに付け込んで、勝手に皆様のコンピュータに良くないソフトを入れ込んで、自由に出し入れできるように設定してしまいます。小さい教室だから…と油断せずにセキュリティについても考えを巡らせていくこともDXの一步目になりうるのです。

## ある時期からは『余生』 と思おう

【曾我綾子さんの著書より抜粋】

昭和 20 年、戦場の年の平均年齢は女性 40 歳代、男性は 20 歳代だったという。男たちは戦場へ行き、つまり、若くして死んだのである。

20 代で死んだ男たちから比べると、40 代まで生きられた女性の皆さんは、幸運というか、しぶといというか、幸福な存在に見えただろう。

もし、現代のような医療がなかったら、私もまた、間違いなく今の年まで生きていることはなかったと思う。

私は、一年に何度も喉が悪くなって、抗生物質を飲まないとなかなか治らない。そういうことを生涯に何十度、いやそれ以上に繰り返しているわけだから、薬がなければ回復不能という事態が出てきていたはずだ。

モーツァルトが 35 歳、バイロン（イギリスの詩人）が 36 歳、太宰 治が 38 歳、芥川龍之介が 35 歳で死んだというと、大抵の現代っ子は驚く。ことに、日本の作家の場合は、「あんな難しい漢字を書けた人がまだ、3、40 代だったのですか？」…というわけだ。

こういう歴史を考えると、今の中年以降というのは、化石みたいな存在なのである。50 歳まで、まだ働いているなどということは、昔は農業とか豆腐の製造業とか宮大工とかの自営業でもない限り、あり得なかったのだ。40 代で、もう老人、50 代は、完全に隠居である。60 歳、70 歳まで生きている人がいるなんて、到底信じられなかっただろう。

だから、現在のほとんどの中年は、昔の人からみたら余生である。戦争に行つて友達が戦死して自分が生き残った人も、すべて今日の生きていることを余生だと思っている。戦後生まれでも、大病をしたり、大きな事故に遭つたりしている人も、その後の生は余生だと感じている。…この感覚が実に大切なのである…

中年以降は、誰でも少しは余生的な眼を持つべきだし、また、持てるはずなのである。なぜなら、30 まで、或いは 40 まで生きられなかった不幸な人が自分の周囲にはいるのに、自分は幸運にも、それらの輝かしい日々を無事に生きてきたのだから文句を言える筋合いはないことが凡庸な感覚でも納得できるからだ。

余生というものを少しでも解る歳になって、初めて自分の眼もしっかりと落ち着いて辺りを見回せるのである。

もし、その人が実際の視力ではなく、洞察力において、いい視力を持っているなら、40、50 くらいになるまでに、人生の天国も地獄も一応は「取り揃えて」見た、という実感を持っているはずだ。

幼時に既に地獄を見たと思った人もいるだろうが、地獄も天国もそんなに長く続くものではない。すると、また、違う地獄と天国が見えてくることになる。

だから、退屈することもなければ結論がでることもない。余生を意義深いものにしたものだ。

曾野綾子氏 作品のファン よっちゃん爺さんより☆  
(I. M. そろばんセミナーレポート読者より投稿)





# ハワイからの便り



## 日本でそろぼんをガンバっている皆さんへ

こんにちは。皆さん、春休みをどのように過(す)ごしていますか。

ハワイはすでに春休みが終わり、学年最後のクォーター(4分の1という意味です。ハワイの学校は、一年を4学期に分け、各学期ごとに成績がつきます。)、学期が始まりました。この学期は5月31日まで続き、6月からは夏休みです。

ハワイでは、この学期から多くの学校が再開(さいかい)されました。昨年3月半ばに州知事(しゅうちじ)より新型(しんがた)コロナによるハワイ州全校の休校命令(きゅうこうめいれい)が出されてから約一年ぶりの学校再開です。生徒が学校へ行って教室で勉強するという事です。しかし、まだいくつかの学校は、コンピューターを使った自宅学習(じたくがくしゅう)を続けています。また学校によっては、一週間のうち2日は学校へ行き、残りの3日はコンピューターによる授業という形をとっています。新型コロナウイルスが学校へ与える影響はまだしばらく続きそうです。

ハワイでは、コンピューターの他にアイパッド(I Pad)やスマートフォンで授業に参加(さんか)している生徒もいます。皆さんは、コンピューターによる授業を経験(けいけん)しましたか。ハワイでは、朝8時から14時15分までコンピューターの前に座(すわ)って授業を受けるのです。宿題やテストもコンピューターの画面に映(うつ)され、コンピューターに答えを打って、コンピューターで先生に送り返します。各教科が終わると休み時間はありますが、慣(な)れない姿勢(しせい)で授業を受けるので、腰(こし)が痛くなったり、コンピューターの画面をずっと見ているので、目が疲(つか)れたり健康(けんこう)に弊害(へいがい=よくないこと)が出てきています。

生徒たちの話を聞くと、「お友達に会えない」「お友達と話ができない」「一緒にお昼ご飯を食べられない」ことが辛いそうです。多くの学校の再開にともない、生徒は以前のように朝早く起きることとなりました。それはちょっと「きついなあ」という声も聞こえてきますが、学校は勉強するだけではなく、たくさんの楽しいことがあることに気づきました。ハワイの生徒は一年学校がなく、学校の大切さ、お友達の大切さを改(あらた)めて知ったようです。

Araki Hiroya Soroban School of Hawaii  
Principal 大嶋秀明

## 事務局だより

# I.M.そろばん オンライン合同練習会

コロナ禍でも出来ることに挑戦！！大会を楽しみにしている生徒さん、大会さながらの練習会をしましょう。そして今年の成績をしっかりと残して、次の大会へ挑みませんか。合同練習会&記録会、いよいよ開催致します。生徒さん1名でも、先生の勉強の場としての参加も可能です。

日 程 2021年 5月1日 (土)

時 間 9時30分～12時30分

会 場 各教場 (ZOOM オンライン)

練習内容 小学生…IM スタイル小学生大会問題  
中学生以上…グローバルそろばんオリンピック問題  
英語聞き取り算、聞き取り暗算

申込締切 4月25日 (日)

申込方法 参加申込書にご記入の上、FAXにて申込、またはメールにて申してください。(メール専用の申込フォームがありますのでお申し出ください。)

・FAX 047-447-3893

・E-mail im@imsoroban.com

※参考資料として小学生大会問題を同封します。参加される教場には問題一式ご案内いたしますので、お早目にお申し込みください。

## ■ オンラインミーティング

※オンライン合同練習会&記録会開催に向けてミーティングを行います。

日 程：4月27日 (火)

時 間：10時～12時

申込方法：メール (im@imsoroban.com) またはお電話(047-449-7765)ください。  
ZOOM ID等は、参加される先生方へ直接ご連絡致します。

## 【 I.M.セミナー開催 】

### ■ Step 00・Step 1 講座 をオンラインにて開催します

- Step-00 順序数、集合数の理解（具体物→半具体物→半抽象物→抽象）
- Step- 1 繰り上がり繰り下がりのない問題

日 時：5月13日（木）10時～12時

講 師：I.M.公認講師 関根 由季先生

受 講 料：無料

教 材 費：245円

申込方法：メール（im@imsoroban.com）、またはお電話（047-449-7765）ください。

※今回に限り、受講料無料で開催致します。この機会に、この度I.M.そろばんにご入会された先生とご一緒にオンラインで交流しながら知恵袋をいっぱいにする学びをしませんか。

## ア－リーサマーキャンプのお知らせ

毎年子どもたちが楽しみにしているア－リーサマーキャンプは今年も実施できる見通しがありません。ですが、「プチ・ア－リーサマーキャンプ in〇〇教室」として、教室単位で開催しませんか？ I.M.そろばんにもお手伝いさせて下さい！

セッションで行うアイデアや、実施後の報告を共有し合っはてはいかがでしょうか。

- 例) 9：30 集合 挨拶（自己紹介、一日の流れ、目標設定など）  
10：00 セッション①（例 速算練習等）  
10：50 休憩  
11：00 セッション②（例 英語読み上げ算練習等）  
12：00 お昼ご飯（お弁当）  
13：30 セッション③（例 体験活動やモノづくりなどもいいですね）  
14：20 休憩  
14：30 セッション④（暗算強化練習等）  
15：20 休憩（おやつタイム）  
16：00 セッション⑤夕飯準備  
(カレーやBBQまたは、1人〇〇円集めて計画し、スーパーやコンビニへお買い物)  
18：00 夕食&反省会  
19：00 片付け、解散

※これは一例です。しっかり感染対策をして少人数日帰り合宿、子どもたちも喜びそうですね。I.M.そろばんではセッションのご提案を致します。

★お問合せ：I.M.そろばん事務局 Tel (047-449-7765) Email (im@imsoroban.com)

— お知らせ —

『ZOOMによる英語読み上げ算オンライン競技会』

主催：トモエそろばん

既に多くの方がご存知かと思われませんが、6月13日（日）に開催されます「英語読み上げ算オンライン競技会」のご案内です。別紙にて詳細がございます。お問い合わせは、主催のトモエそろばんへお願い致します。

発 行	N. P. O. 法人 I. M. そろばん
発 行 日	2021年 4月 5日
発 行 人	荒木 光
企画・編集	山本亜季子
発 行 所	〒274-0806 千葉県船橋市二和西6-17-17
TEL	047-449-7765
FAX	047-447-3893
	E-mail: im@imsoroban.com
	URL: <a href="http://www.imsoroban.com">http://www.imsoroban.com</a>